

関係者各位

中央労働災害防止協会

令和4年1月17日

当協会運営センター主催の研修会受講者における新型コロナウイルスPCR検査陽性反応の判明について

当協会が運営に当たっております大阪安全衛生教育センター(大阪府河内長野市)(※)が主催した研修会の受講者1名について、新型コロナウイルスPCR検査陽性反応が判明いたしましたので、お知らせいたします。

当該受講者は1月11日(火)～12日(水)にかけて研修に参加されましたが、後日、新型コロナウイルスPCR検査を受け陽性反応が出たことを把握いたしました。

研修の実施にあたっては、全ての受講者に対し検温を行い、マスクやフェイスシールドを着用するとともに、教室では2人掛け机を1人掛けにして座るなどして1m以上の間隔を空けた上で、毎回研修後に研修室の消毒を行うなど、感染予防対策を徹底しております。

所轄の保健所には、こうした状況に加え当該受講者の行動履歴を説明し、濃厚接触者はいないのご判断をいただいておりますが、当該研修の受講者をはじめ、関係者への連絡と健康確認など、保健所の指導のもと、適切に対応してまいります。

また、現在、体調不良を訴える当該研修の受講者はありません。

これらを踏まえ、1月17日(月)からの当センターでの研修は、予定通り実施することとしております。

当協会では、研修をはじめとする各種事業に際しまして、徹底した感染予防対策を講じておりますが、今後、従来に増して感染防止に万全を尽くしてまいります。

※大阪安全衛生教育センターは、労働安全衛生法第63条に基づき、労働災害や職業性疾病の防止のために、労働安全衛生に関する指導者や専門家を養成することを目的として1978(昭和53年)年に労働省(現:厚生労働省)により設立され、中央労働災害防止協会がその運営に当たっております。

中央労働災害防止協会(中災防)

	理事長	竹越 徹
【担 当】	総務部長	大隈 俊弥
	同 次長	杉田 修康
	総務部総務課長	柴田 千鶴

(電話)03-3452-6073 (Eメール) somu@jisha.or.jp